

平成30年3月舞踊公演

素踊りの会

午後1時開演

対談 素踊りの魅力

常磐津 俳諧師

長唄 時雨西行

長唄 新曲浦島

清元 玉屋

花柳壽應
丸茂祐佳
(日本大学教授)

坂東三津映

江口の君
吾妻徳穂
西行法師
花柳寿楽

花柳寿美

西川扇藏

午後4時開演

対談 素踊りの魅力

東明 梅

清元 吉原雀

清元 長生

長唄 二人椀久

尾上墨雪
丸茂祐佳
(日本大学教授)

中村梅彌

若柳吉蔵
若柳吉金吾

藤間勘左

椀久
尾上墨雪
松山
尾上紫

地方 常磐津初勢太夫・常磐津文字蔵／杵屋直吉・杵屋六三郎／清元美寿太夫・清元美治郎／東明伶舟・東明吟美／高橋翠秋
囃子 藤舎呂浩連中

平成30年 3月17日(土)

国立劇場 Q検索

【料金】全席指定 6,500円 (学生=4,600円) ※障害者の方は2割引です

1時の部・4時の部セット料金 11,800円 (同時購入の場合のみ)

【電話】国立劇場チケットセンター (午前10時～午後6時) 0570-07-9900

03-3230-3000 (一部IP電話等)

東京・半蔵門

国立劇場

小劇場

東京都千代田区千代田4-1
電話 03-3265-7411 (代表)
http://www.ntj.jac.go.jp/

beyond
2020

平成30年3月舞踊公演

素踊りの会

素踊りは、屏風を背に、簡素な拵えて踊る上演形式のこと。素だからこそ、振りや体の形、間拍子など、踊りそのものの魅力をご堪能いただけます。
〈素踊りの会〉は、第一線で活躍する名手がつどい、素踊りの、そして日本舞踊の真髄にふれる年に一度の公演です。磨き抜かれた芸が織り成す舞台の数々を、心ゆくまでお楽しみください。

素踊りの魅力 体の使い方や扇のテクニクなどについて、素々ならではのポイントや、振付の秘密などをひもとき、素踊りの魅力にふれていただきます。午後1時の部では長年にわたり舞踊界を牽引してきた花柳壽應を、午後4時の部では古典と創作の両ジャンルで活躍する尾上墨雪を迎えます。日本舞踊研究の第一人者、丸茂祐佳・日本大学教授との示唆に富む対談にご期待ください。



丸茂祐佳

午後1時開演

俳諧師 通人めいた俳句の宗匠の姿が描かれたもので、この作品を伝える坂東流でも上演の稀な貴重な曲です。坂東流のベテラン、坂東三津映が飄逸な情趣を描き出します。

時雨西行 能「江口」を題材に西行法師と普賢菩薩の化身である遊女との逸話がうたわれ、初代吾妻徳徳が得意としていました。

二代目吾妻徳徳が、品格ある舞台上に定評のある花柳寿楽とご覧に入れます。

新曲浦島 坪内逍遙による壮大な舞踊劇『新曲浦島』の序幕の前奏曲にあたり、大海原の様々な情景がダイナミックに綴られます。新作や振付にも力量を発揮する花柳寿美の豊かな表現力に期待が寄せられます。

玉屋 午後1時の部の掉尾を飾るのは重要無形文化財保持者(人間国宝)の西川扇藏です。「玉屋」とは、町なかを売り歩くシャボン玉売りのこと。その姿を軽妙洒脱に描く至芸をご堪能いただけます。

午後4時開演

梅 梅を題材に、菅原道真の和歌や月ヶ瀬の梅林の情景などが変化に富んだ曲調でうたわれた曲です。中村梅彌の古格を守った芸でお楽しみください。

吉原雀 江戸・吉原の情景や遊女の姿が洒落た曲調で綴られます。清爽な踊りの若柳流宗家家元の若柳吉蔵と、円熟の舞台を見せる同流重鎮の若柳吉金吾の共演でご覧いただけます。

長生 松江藩主・松平宗衍の作詞によるもので、大名家の新春の行事や情景が描かれています。藤間流勲右衛門派の藤間勘左が御祝儀曲の代表作を格調高く紡ぎます。

二人柳久 実在した豪商・梶屋久右衛門と馴染みの遊女・松山を題材とし、昭和に入り初代尾上菊之丞が振り付けて以来、人気作となりました。初代の衣鉢を継ぐ尾上墨雪と、

墨雪の長女・尾上紫による素での上演に注目が集まります。

平成30年 3月17日【土】 午後1時/午後4時開演

【料金】全席指定6,500円(学生=4,600円) 1時・4時の部セット料金 11,800円 (同時購入の場合のみ)

※障害者の方は2割引です。詳細はチケットセンターまでお問い合わせください。 ※車椅子用スペースがございます。ご予約時にお問い合わせください。

●予約開始=1月11日(木)午前10時～ 【インターネット】
【電話】国立劇場チケットセンター(午前10時～午後6時) パソコン <http://ticket.ntj.jac.go.jp/>
0570-07-9900 (一部IP電話等) スマートフォン <http://ticket.ntj.jac.go.jp/m>



●窓口販売開始=1月12日(金)(チケット売場 午前10時～午後6時) ※窓口販売用に別格での取り置きはございません。
●プレイガイド チケットぴあ 0570-02-9999【PC・携帯】<http://pia.jp/>

この公演は託児室をご利用いただけます。ご利用には事前の予約が必要です。(定員になり次第、締め切らせていただきます。)
国立劇場 託児室 ご予約・お問い合わせ: イベント託児・マザーズ 0120-788-222 <http://www.mothers-inc.co.jp/>
【受付時間】平日午前10時～12時、午後1時～5時 料金:[0歳～1歳]2,000円/[2歳～12歳]1,000円



至日比谷 三宅坂 半蔵門
●地下鉄 半蔵門線(半蔵門駅)6番出口(エスカレーター、エレベーターあり)1番出口徒歩5分
有楽町線・半蔵門線・南北線(永田町駅)4番出口徒歩8分・2番出口徒歩10分
●都バス 都03(靖国通り)一銀座四丁目-四谷駅 三宅坂徒歩1分(本数僅少)
宿75(新宿駅西口-河田町-四谷駅前-三宅坂)三宅坂徒歩1分(本数僅少)
●劇場バス 終演時に運行(東京行き・新宿行き)
●駐車場 収容台数に限りがございます。なるべく公共交通機関をご利用ください。

東京・半蔵門 **国立劇場** 小劇場 東京都千代田区幸町4-1 電話 03-3265-7411(代表) <http://www.ntj.jac.go.jp/>

あぜくら会

入会受付中! >>> チケットの先行予約・割引・イベント・会報誌などの特典満載!
お問い合わせはあぜくら会事務局 03-3264-0555(平日10:00-17:00/土日祝日年末年始7:00-19:00)
詳しくはあぜくら会HP <http://www.ntj.jac.go.jp/member>